



世界に希望を生み出そう

2023-24年度
国際ロータリー会長

ゴードン R. マッキナリー

第2600地区ガバナー 折井 正明

国際ロータリー第2600地区 上田六文銭ロータリークラブ Rokumonsen Rotary Club

【事務局】〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F

TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 <http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30 《例会場》上田東急REIホテル 2F 《創立》1997年2月18日

●会長 清水 一典 ●幹事 水野 泰雄 ●出席・会報・ニコBOX委員長 吉田 穰 ●副委員長 三浦 道也 ●委員 斉藤 仁／青木 丈典

例会日誌

- 司 会 宮原 宏一君
- 開会点鐘 清水 一典君
- R ソング 「それでこそロータリー」
- ゲスト

日本ボーイスカウト長野県連盟



上田第5団団委員長 出田 行徳様
上田第13団団委員長 小川 實様
ガールスカウト日本連盟
長野県第5団団委員長 岩岡 智子様
長野県第25団団委員長 村瀬 知穂様

□ラッキー賞

提供者 北村久文君 「北海道土産」
田中 栄一君



□委員会報告

「ロータリーの友紹介」 水野 泰雄君
「親睦旅行のご案内」 生川 秀樹君

会長挨拶



清水 一典君

先日、新聞やTVニュースで伝えられておりましたが、「ラケーション」という言葉を聞いたことがありますか。ラーニング（学習）とバケーション（休暇）を合わせた造語で、小学生・中学生・高校生対象の平日3日間（年間）休んでも欠席としない制度が始まるそうです。全国の30%~40%の人が土曜・日曜日が仕事だそうです。私も子供のころ両親とも土・日が忙しく仕事をしていましたので、友達が

土日の休日に遊園地など遊びに連れて行ってもらったと聞くと羨ましく思っていました。条件は校外学習を取り入れれば遊園地や動物園や行く場所は限定しなくて良いそうです。平日がお休みの方でなかなか子供たちと連泊で旅行に行かれない家族にも喜ばれると思います。保護者の有給休暇の取得にも繋がる「休み方改革」にもなるそうです。男女の育休取得や残業の制限など、働く者にはやさしく益々働きやすい環境作りが進み環境整備した会社側も雇用の確保にもつながると思いますが、経営者側も「ワークライフバランス」を意識して自ら意識改革が必要ではないかと思っています。「ワークライフバランスとは、仕事と生活を調和させること」「内閣府が2007年に策定した仕事と生活の調和憲章」によれば「ワークライフバランス」が実現した社会とは、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」と定義されている。

昭和20年から30年世代はワークライフバランスではなく、ワークあんどワークという時代でしたので、仕事に興味という人が多かったような気がします。最近、私も少し休みを増やし体を休めるようにし始めました。経営者側もワーク&ワークではなく、ワークライフバランスを意識していきましょう。

幹事報告



水野 泰雄君

- ・RI より
- ・財団室ニュース 9月号

・ロータリー研究会のご案内

出席・会報・ニコ BOX 報告



斉藤 仁君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	22	7	0	68.18%
前々回	20	5	1	80.00

出田行徳様 本日はお世話になります。

(上田 RC)

清水一典君 スカウトの皆様本日はお忙しい中お越しいただきまして誠にありがとうございます。

水野泰雄君 今日はスカウトの皆様ようこそ～国際大会での活躍もご苦労様でした。

生川秀樹君 10/14(土)から一泊二日で群馬県四万温泉ツアーを親睦委員会で企画しました。多くの方の参加をお待ちしています。

合原亮一君 そろそろ稲刈りなので準備に追われています。

笠原 一洋君	北村 久文君	小嶋 修一君
松澤 一志君	宮原 宏一君	西澤 尚夫君
田中 栄一君	杉山 裕君	斉藤 仁君
斉藤恵理子君	中澤 信敏君	吉田 穰君

ニコ BOX 喜投額 9/12:23,000 円(目標:17,000 円/回)
今年度累計:170,000 円 (進捗率:125%/8 回)

スカウト訪問



ガールスカウト

長野県第 5 団団委員長 岩岡 智子様

5 団の最近のスカウトの様子を報告させていただきます。7 月 9 日(日)は、戸隠にガールスカウトの森の下草刈りでした。8 月 11 日から 15 日の 4 泊 5 日戸隠ガールスカウトセンターでレンジャー全国キャンプが行われ長野県から 11 名のスカウトとヤングリーダー 2 名が参加し、5 団の高校生も一人参加しました 8 月 5 日・6 日と女神湖のペンションに泊まりガールスカウトにしては珍しい形の団キャンプですが思い出に残る体験をしました。9 月 2 日・3 日は高遠青少年自然の家で、小学校高学年対象のジュニアラリーが長野県連盟主催でありました。

近年では会員増強を目的にガールスカウトフェスティバルを地区ごとに開催しており東御・上田方面と小諸・佐久方面の地域で、場所は交代で開催して

います。10 月 1 日には小諸で開催されますが、すでに申し込みはいっぱいということです。

2024 年度は長野県連盟が 60 周年を迎える年です。学校生活以外での集団で楽しいことわくわくすることを体験した少女が成人になったとき、社会の役に立てる、行動できる女性になってくれることを願って、私たちは微力ながら活動しています。



ガールスカウト日本連盟

長野県第 25 団団委員長 村瀬 知穂様

第 25 団は 36 名で活動しています。

コロナ前の活動ができるようになってきました。こどもまつりに参加し、多くの方との触れ合いを持つことができました。例年通りのキャンプ訓練では異年齢の活動もできています。今年の夏は暑すぎてしまい、室内の城南公民館で夏のお茶会を実施しました。長野県連盟での 1 泊 2 日の宿泊キャンプがありました。25 団以外の成長も見られ、ガールスカウトの活動は、子どもたちの成長に必要なもの改めて感じたところです。

5 月のガールスカウトフェスティバルを上田市で開催し、入団に繋げることができ、今後も 2, 3 人が入団体験をし、入団予定になっています。小学低学年年代が増える喜びと、指導者側の増加につながらない現状があり、うれしい悲鳴ではあります。スカウトたちが学校以外の場所で活躍できる場として、今後も活動していきたいと思えます。



日本ボーイスカウト長野県連盟

上田第 5 団団委員長 出田 行徳様

上田第 5 団は現在、少子化、子ども達の置かれている環境とニーズの変化、私たち団関係者の減少などにより、ボーイスカウト活動が低迷していて、今年度は指導者不足により、ビーバースカウト隊は、休隊となってしまいました。その結果、37 名で活動しています。

この中、今年度は 4 年に一度の世界スカウトジャンボリーが、世界 150 か国以上、43,000 人の参加で、韓国で開催され、上田第 5 団から、中学生 1 名、高校生 1 名、専門学校生 1 名、指導者 1 名が日本派遣団 1,563 名の一員として参加することができました。上田第 5 団は、昭和 24 年に、上田市で誕生してから、70 年以上、地元の皆様のご支援で続けていくことができました。

9 月 26 日例会予定

チャリティー夜間例会 18 時～受付
18 時半点鐘